

わくわくだより

第2号

平成26年11月11日(火)

少人数・習熟度別授業担当 木谷一雄・森林 さやか



習熟度別学習（高学年の部）

5年生では、2学期の学習はクラスを半分に分けた少人数学習で進めてきています。「平均」「単位量あたりのおおきさ」「図形の面積」と学習してきました。

これらの学習は、今後中学校での学習の基礎となるもので、しっかりと身につけておきたい内容です。



この意見はどうですか？



大事なところは赤で書いておこう



ノートを使いながら、自分の考えをまず書いてみて、さらに友だちの考えなども参考にしながら、自分の考えをより確かなものにしていくように話し合いながら学習を進めています

6年生では、習熟度別学習で「立体の体積」「比」「図形の拡大と縮小」「比例」などの学習を進めてきました。課題を確かめた後、自分なりの見通しを持ちながら、解決の方法をペアで話したり、グループで話したり、クラスみんなで話しながら学習を進めています。



こう考えると良いのかな？

* 5年生の学習について *

5年生の学習の「単位量あたりのおおきさ」は子どもたちが立式に悩む単元の1つです。ヒントは問題文の中に隠されているので、しっかり問題文を読むことが大切になります。何を聞かれているかを見極めて、かけ算にするかわり算にするのかを判断していきたいものです。「図形の面積」では、それぞれの図形の公式を正しい言葉できちんと覚えておきたいです。「高さ」や「対角線」など使われている言葉の意味をしっかりと理解しておきたいです。中学校では、分かっているものとして進めていきますので、小学校の間に覚えておきましょう。

* 6年生の学習について *

6年生の学習では、実際の生活と結びついた内容の学習が出てきています。「図形の拡大と縮小」「比例」などは普段の生活の中でもたびたび使う機会が出てきます。しかし、意外と意識されていない場合が見られます。基本的な考えや処理のしかたを覚えておくと実際の生活でもずいぶん役に立つので、この際しっかりと身につけておきましょう。そのときには、正しい言葉と、正確な定義を覚えておくと、まちがいなく解くことができます。